



楓の誉

R6.4.19(第1号)
文責：高田 幸伸

令和六年度が

はじまりました。

合志楓の森中学校、開校四年目が始まり、約二週間が経ちました。

「稚心を去り、己を啓く」という校訓のもとで「夢と誇りを持ち、自分らしく、主体的に行動できる生徒の育成」を学校教育目標として、生徒、保護者、地域の皆様、行政、職員が五者連携しながら、生徒たちの成長を支えていきます。どうぞよろしくお願いたします。

ところで、私はこの度の異動で阿蘇郡の南小国中学校から赴任しました高田幸伸(たかたゆきのぶ)と申します。少し自分のことをお話ししますと、初任は東町中学校で、その後は阿蘇管内の学校で勤務しました。

平成二十八年に開校一年目の南阿蘇中学校に赴任し、開校して一週間で熊本大地震が起きました。阿蘇大橋は崩落し、道路は寸断され、校舎は至る所に亀裂が入っていました。当時連絡網や安心メールは使用できる状態ではなく、一軒ずつ電話連絡や家庭訪問しながら生徒の安否確認することから始まりました。

ゴールデンウィーク明けから学校は再開しましたが、日常生活を取り戻すことは簡単なことではありませんでした。自宅や故郷を離れて生活せざるを得ない生徒や保護者もおられました。そのようななかで生徒、保護者、地域の方々

は、多くの協力や創意工夫を重ねながら、力強く生活を取り戻されていく姿を間近に見て、自身大きな力をいただきました。

その後、大津中学校、南阿蘇西小学校と赴任しましたが、熊本地震の影響を様々な場面で感じてきました。それまでの「当たり前」の日常生活「がいかに特別で尊いものなのか強く感じながら生きてきました。

四月八日(月)の始業式では、三つのことを生徒たちに向けて話しました。

一つ目は、命を大切にすること。

まずは自分の命を大切にすること、そして家族や周りの人たちの命を大切にしたいと伝えました。

二つ目は、一人で抱え込まないこと。

悩みやきつい思いを誰かに話すことで、心が整理されたり、落ち着いたりするので、とにかく勇氣をもつて誰かに話してほしいと伝えました。

三つ目は、何事にも挑戦すること。

様々なことに積極的に挑戦して、経験を積んでほしい、挑戦してうまくいかなくてもその経験をいかして、また挑戦し続けられたいと伝えました。

生徒たちは、新学期が始まるこの「節目」を気持ち新たに迎えています。その期待に添うように職員一丸となって取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域・関係機関の皆様、引き続き本校教育にご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



朝の挨拶運動の様子 →

本校教職員の紹介

校長
教頭
主幹教諭
主任教諭

一年主任

一年一組担任

一年二組担任

一年三組担任

一年四組担任

一年副担任

二年主任

二年一組担任

二年二組担任

二年三組担任

二年副担任

三年主任

三年一組担任

三年二組担任

三年三組担任

三年副担任

三年副担任

もみじ一組担任

もみじ二組担任

もみじ三組担任

もみじ四組担任

もみじ五組担任

もみじ六組担任

養護教諭

事務主査

A L T

教育活動指導員

教育活動指導員

教育活動指導員

教育介護補助員

教育介護補助員

教員業務支援員

学校司書

用務員

※学校生活の様子や様々な情報は、

本校HPに随時、掲載していますので、こちらもご覧ください。

※この箇所には、名前などの個人情報が含まれておりますので、掲載は控えさせていただきます。



学校HPのQRコード